認知症の方への接し方（例）

事例①「ものを盗られた」と言い出す

＜本人の気持ち＞

・確かにここに置いたはず
・自分がなくすはずがない
・知らないうちに隠された

＜接し方のポイント＞

疑われることは、ショックかもしれません。一緒に探して、本人が見つけられるように支援し、受け流しましょう。見つかったら「よかったね」と一緒に喜んであげましょう。

事例②何度も同じことを話す・聞く

＜本人の気持ち＞

・そのことが気になって仕方がない
・初めて言ったのに、何で怒るんだろう？

＜接し方のポイント＞

認知症の方にとっては初めてのことだ、と理解してあげてください。時間があれば、初めて聞いたつもりで対応しましょう。忙しい時は後で話す時間を作ることや、さりげなく話題を変えるのもいいでしょう。